

## 出前講座 「北上川の洪水と土砂災害」

- 開催日時：平成28年2月14日（日）10時00分から11時30分
- 開催場所：一関市消防本部
- 参加者：一関地域自主防災組織連絡協議会会員 95名
- 講師：岩手河川国道事務所 調査第一課長 山影修司

平成28年2月14日（日）、一関市消防本部において出前講座を開催し、一関地域自主防災組織連絡協議会会員の皆様95名が参加しました。

この出前講座は、「一関地域自主防災組織連絡協議会研修会」の一環として開催され、当事務所調査第一課の山影課長が「北上川の洪水と土砂災害」と題して講演しました。

まず最初に一関市が水害の常襲地域である地形的な理由を説明し、北上川流域の水害について一関市内に大きな被害をもたらした昭和22年、昭和23年のカスリン・アイオン台風や、平成14年、平成19年洪水等の概要を説明しました。そして岩手河川国道事務所が取り組んでいる洪水対策について、五大ダムの役割や、一関遊水地のしくみと役割、北上川狭隘地区の治水対策事業について説明しました。

また、平成24年7月の九州北部豪雨で破堤した矢部川の状況や、平成27年9月の関東・東北豪雨で決壊した鬼怒川の状況をふまえ、避難判断の目安となる基準水位について、はん濫注意水位や避難判断水位を説明しました。そのほか、岩手河川国道事務所が情報発信している河川の防災情報について、一関市のハザードマップを踏まえながら紹介しました。

次に土砂災害について、平成20年6月14日「岩手・宮城内陸地震」の対応と、平成26年8月豪雨で土石流の被害を受けた広島市の土砂災害を紹介し、土砂災害警戒情報の基準等を説明しました。

参加者からは、

「一関市内の堤防は液状化現象にどの位耐えられるのか」

「漏水箇所が心配なので、詳細に調べる方法を教えて欲しい」

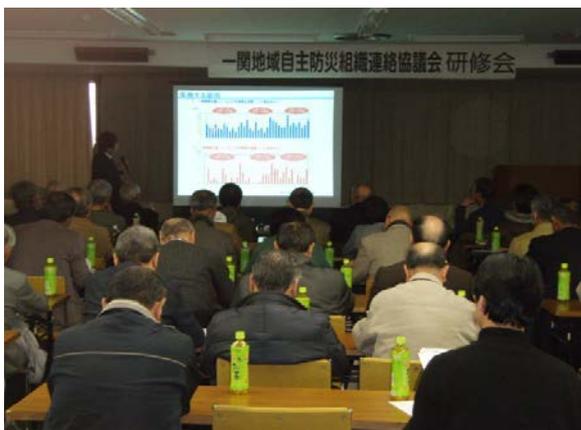
「堤防の定期点検をしっかりとって、漏水が発生しないようにして欲しい」

などの質問・意見が出され、近年多発する自然災害の報道もあって、洪水や土砂災害に対してとても関心が高い様子で、熱心に聴講していました。

最後に「避難場所に行く為には、ハザードマップで示された土砂災害危険箇所を通らなければならないので、今後はどう逃げれば良いか検討したい」「自分達の住む一関は自分達で守らなければならない、と再認識した」との感想をいただきました。

今日の出前講座を通して、地域における自主防災活動の活発化と地域の防災力向上の一助となれば幸いです。

国土交通省岩手河川国道事務所では、随時出前講座を開催しております。  
お気軽にお問い合わせ下さい。



調査第一課 山影課長による講演



熱心に聞く一関地域自主防災組織の皆様